

麻生区区民会議 第6回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年5月22日（金）午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 上野委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高橋委員、山田委員
（欠席）石井委員、梶委員、志村委員、吉垣委員
[事務局] 企画課 井上課長、白石担当係長、佐藤 [コンサルタント] 佐藤
- 4 傍聴者 1名
- 5 議事

（1）前回の振り返りについて

- ・第5回部会の審議内容についてコンサルタントより説明。

（2）調査審議課題の検討について

事務局及びコンサルタントから、流山市からの回答及び取組について説明し、魅力のブランド化における今後の具体的な取組を中心に検討する必要がある旨、投げかけ。

- ①魅力をPRするターゲット(対象)の設定
- ②魅力をブランド化する上でのイメージの設定
- ③ブランド化する上での裏付けとなるPRポイントの確認
- ④ターゲットへのPR方法
- ⑤シビックプライドを意識した活動

【決定事項】

- ・部会の今後の進行について、テーマ毎に部会内で順に審議を行っていく。
- ・ターゲットを30代と40代の子育て世代とするが、共働きかどうかについては強調しない。
- ・麻生区の魅力となるものについて、子育てフェスタで参加者（子育て世帯）にアンケートを取る。また、学生にもアンケートをとる。
- ・まちづくり局住宅整備課の担当から、空き家対策について説明をしてもらう。

【主な意見】

（麻生区の魅力のブランド化とPR）

- ・流山市では共働きの子育て世代を対象にしているが、麻生区では専業主婦率が多いのではないか。また、高所得であるから専業主婦率が高いのではないか。高所得かどうかはわかるのか。
→幼稚園の就園率で分かるのではないか。
- ・集合住宅を作る時に保育所も併設するようにする条例が必要ではないか。←麻生区では既に開発が進んでいるので、新しくマンションの開発は難しいのではないか。
- ・駅中保育について、小田急に働きかければよいのではないか。
- ・パートの女性等は、働きたいという欲求、やりがい、生きがいを求めて社会参加をしている。特に高学歴の人が多い。
- ・麻生区と流山市の決定的な違いは収入層ではないか。
- ・共働きだけに絞ろうとすると、麻生区のブランドはどれだけ魅力になるのか。芸術や緑が多よりも、住宅状況がいいとか、交通状況がいいなど、そちらが中心になるのではないか。
- ・物価、家賃が高い、エリアによって交通の便が悪いなどの点から、ランクにはあがらないの

ではないか。

- ・大手の不動産会社が売り込みのためのパンフレットを作る時に、芸術のまちを取材して載せているので、業者の方が魅力を把握しているのではないか。
- ・新百合ヶ丘という名前は世間に浸透しているのではないか。
- ・麻生区の魅力、こういったものを売り物にするのかは、既存の魅力をまとめる必要があるのではないか。アンケートを取るにも、これだけの魅力があるが、さらに何を求めるのかといったアンケートを取る必要があるのではないか。
- ・アンケートを取るにしても、魅力に関して、区役所の方で以前からアンケートを取っている中でさらに何を聞くのか、検討する必要がある。
- ・春の芸術祭をやっているが、市民にあまり還元していない。市民であれば割引がある、子どもがいればさらに割引くなどを役所と作り上げていけば、芸術のまちが自分のものになるのではないか。こうした方が芸術のまちが盛り上がるという点をアンケートに盛り込んだ方がよいのではないか。
- ・首都圏でこれだけ緑を持っている地域は麻生区ぐらいなので、その辺りで人気があるのではないか。
- ・子育て世代が転居先を選ぶ理由に教育環境の良さがあるのではないか。南百合丘小学校や富士見台小学校では帰国子女の受入態勢が整っていて、公立の小学校でケアをしてもらえることから人気がある。
- ・地元のイベントに参加できる仕組みがこのまちではできているということと言えると、よいのではないか。子どもの頃に地域のイベントに参加すると、地元へ愛着が沸く。
- ・地域の伝統文化と若者の接点をどう演出できるか。
- ・駅周辺の再開発や地下鉄延伸、交通面の解決という点は未来の魅力になるのではないか。
- ・学生の中でも保育等を勉強している人に話しを聞いてみるのはどうか。
→質問事項を固めて、6大学連携で聞いてみるのはどうか。
- ・委員長辺りから、子育てフェスタで区民会議としてアンケートを取りたいと説明いただけるとよいのではないか。
- ・アンケートをする際には、ある程度の結論を踏まえて作り込む必要がある。

(空き家の利活用について)

- ・まちづくり局で進めている空き家対策の調査の結果から見た課題や、今後それをどうしていくのかを説明してもらいたい。

(3) 次回の検討

- 既存の魅力に関するアンケートの内容及び子育てフェスタでのアンケートを元に作成した事務局案のアンケート内容の検討、また実際にどのようにアンケート調査を行うのかを検討する。
- 空き家の利活用について、昨年度の調査内容とその結果、また結果から見えた課題とこれからの取組の方向性についてまちづくり局住宅整備課の担当に話を聞く。

以上